

特別展

桜 さくら SAKURA 2025

美術館でお花見！

2025年3月8日(土)~5月11日(日)

主催：山種美術館、朝日新聞社

協賛：住友林業株式会社

暖かな陽光がさし始める春。草花が芽吹き、心躍る季節です。なかでも、私たちの気持ちを浮き立たせるのは、桜の開花ではないでしょうか。このたび当館では、桜の名品を一堂に展示し、美術館にいながら、お花見に訪れたかのように気持ちが華やぐ展覧会を開催します。

桜がらんまんを咲かせた時の美しさと、はらはらと散っていく儂さは、古くから日本人の心を魅了してきました。芸術の世界においても、古来、詩歌に詠まれ、調度や衣装などの文様に表されるとともに、絵画にも盛んに描かれています。近代・現代の日本画でも、桜は多くの画家が取り上げたモチーフであり、画家の個性や美意識が反映された多種多様な表現をみることができます。



奥村土牛《醍醐》1972(昭和47)年
山種美術館 [画像請求 No. ⑩]



松岡映丘《春光春衣》1917(大正6)年
山種美術館 [画像請求 No. ⑥]

本展では、桜を愛でる女性を色鮮やかに描いた松岡映丘《春光春衣》、京都・総本山醍醐寺三宝院の「太閤しだれ桜」を柔らかな色合いで捉えた奥村土牛《醍醐》、清らかな水が流れる溪谷に咲く山桜を表した川合玉堂《春風春水》、宵闇のつややかな桜をクローズアップして描き出した速水御舟《夜桜》など、画家たちの創意あふれる桜の名品の数々をご覧ください。

2025年春、個性豊かな桜の絵画で満開となった会場で、お花見を楽しみながら、春を満喫していただければ幸いです。*所蔵表記のない作品はすべて山種美術館所蔵



川合玉堂《春風春水》1940(昭和15)年
山種美術館 [画像請求 No. ④]



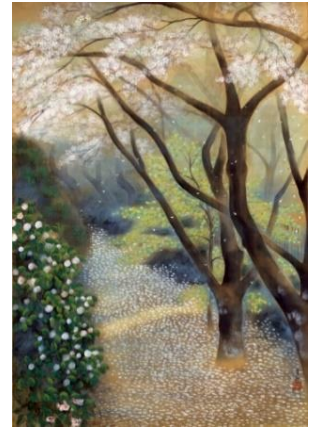
小林古径《桜花》1933(昭和8)年頃
山種美術館 [画像請求 No. ⑧]

本展のみどころ

みどころ①

名だたる日本画家たちによる桜の競演！

優しい雰囲気にもまれたしだれ桜を描いた奥村土牛《醍醐》、散りゆく桜を抒情たっぷりに表した小茂田青樹《春庭》、満開の桜を装飾的に描き出した橋本明治《朝陽桜》など、多彩な名作をご覧ください。



左：菊池芳文《花鳥十二ヶ月のうち「3月」》1868-1918年頃(明治-大正時代) 山種美術館[画像請求 No. ②]
中：奥田元宋《奥入瀬(春)》1987(昭和62)年 個人蔵 [画像請求 No. ⑬]
右：小茂田青樹《春庭》1918(大正7)年 山種美術館 [画像請求 No. ⑪]

みどころ②

夜桜の魅力に注目！

本展では、淡い月明かりに照らされてしっとりと咲き誇る夜桜をテーマ展示！日ざしの下で輝く桜とは異なる桜の表情をご堪能ください。



速水御舟《あけぼの・春の宵のうち「春の宵」》1934(昭和9)年 山種美術館

速水御舟《夜桜》1928(昭和3)年 山種美術館[画像請求 No. ⑫]



2022年開花時の様子

みどころ③

奥村土牛《醍醐》とゆかりの桜が同時に見られる機会！

奥村土牛《醍醐》のモデルとなった「太閤しだれ桜」。2021年11月、その桜を組織培養した「太閤千代しだれ」を当館の玄関横に植樹しました。2025年の春も、《醍醐》とともに皆さまをお待ちしています。

■展覧会名：【特別展】桜 さくら SAKURA 2025 —美術館でお花見！—

■会 期：2025年3月8日(土)～5月11日(日)

■休 館 日：月曜日[5/5(月・祝)は開館]

■開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※今後の状況により会期・開館時間等は変更する場合がございます。

■入 館 料：一般1400円(1200円)、**春の学割** 大学生・高校生500円、中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)

※障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)は1200円(1000円) ※()内は前売料金

きもの特典きものゆかたでご来館のお客様は、一般200円引きの料金となります。 ※複数の割引・特典の併用はできません。入館日時のオンライン予約も可能です(詳細は当館Webサイトをご覧ください)。





■主な出品作品(予定)：約60点 ※所蔵表記のない作品はすべて山種美術館蔵。

渡辺省亭《桜に雀》、菊池芳文《花鳥十二ヶ月のうち「3月」》、横山大観《山桜》、山元春挙《裾野の春》、川合玉堂《春風春水》、菱田春草《月四題のうち「春」》、菊池契月《桜狩》、富田溪仙《嵐山の春》、松岡映丘《春光春衣》、小林古径《清姫のうち「入相桜」》、《桜花》、《弥勒》、川端龍子《さくら》、奥村土牛《醍醐》、《吉野》、小茂田青樹《春庭》、速水御舟《夜桜》、《あけぼの・春の宵のうち「春の宵」》、橋本明治《朝陽桜》、奥田元宋《奥入瀬(春)》(個人蔵)、稗田一穂《惜春》(個人蔵)、加山又造《夜桜》、千住博《夜桜》 ほか

■会 場：山種美術館 (〒150-0012東京都渋谷区広尾3-12-36)

■問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル 電話受付時間：9:00～20:00)

■公式 HP：<https://www.yamatane-museum.jp/>

■公式 SNS：   

※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。※ 本展周知目的でない画像の利用や転載はお断りします。

※ 本展周知で作品画像等の使用を希望される場合は、別途広報素材一覧をご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

報道関係の方からの
本件に関する
お問合せ先

山種美術館広報事務局(ユース・プランニングセンター内)／担当：片山、平野、池袋
〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル4F

TEL：03-6821-8547 FAX：03-6821-8869 E-mail：yamatan-pr@ypcpr.com